

平成17年第5回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目
1人目	5番	水野 義裕 議員	<p>1 震災対策の具体化について</p> <p>(1) 避難所の対応は</p> <p>(2) 防災訓練の見直しを</p> <p>(3) 非常用電源は充分か</p> <p>(4) ボランティア対応策の立案を計画的に行うべきではないか</p> <p>2 行政手続法の改正にどう対応するか</p>
2人目	14番	桑原 寿 議員	<p>1 食育の推進について</p> <p>(1) 食育推進基本計画の策定について市の考えは</p> <p>(2) 食育推進会議の設置についての考えは</p> <p>(3) 基本的施策についての考えは</p> <p>①家庭における食育の推進について</p> <p>②学校、保育所等における食育の推進について</p> <p>③地域における食生活の改善のための取り組みの推進について</p> <p>(4) 食育推進運動の展開について</p> <p>(5) 「子どもの食を通じた健康づくりネットワーク」事業の報告書が出された</p> <p>①報告書では、「食育推進連携会議（仮称）」を開催することが効果的ではないかとある。市の考えを伺う</p> <p>②食育実践者を育成する考えは</p> <p>2 奥多摩街道、間坂信号の安全対策について</p> <p>(1) 数年前から歩行者用の信号機の設置について要望が出されている。進捗状況と改善の見通しについて伺う</p> <p>(2) 早期改善が望まれる、地域住民や根がらみ前水田を訪れる歩行者の安全対策について、市の考えを伺う</p> <p>(3) 奥多摩街道は歩道の幅も狭く、車イス利用者にとっては渡りづらい横断歩道である。さらなるバリアフリー化が望まれるが、市の考えを伺う</p>
3人目	20番	中原 雅之 議員	<p>1 アスベスト対策について</p> <p>(1) 市内の公共施設のアスベスト使用状況はどうか</p> <p>①羽村市が管理している公共施設の状況は</p> <p>②市内の公共施設（JR、NTT、国、都、衛生組合等）のアスベスト使用状況は</p> <p>③市内にアスベストを製造あるいは使用している事業所はあるか</p> <p>④羽村市も「アスベスト台帳」を検討してはどうか</p> <p>(2) 非飛散型アスベストについて</p> <p>①市の公共施設に使われている岩綿吸音板にアスベストが含まれているか調査を</p> <p>②震災などの時、市民が避難する学校体育館などの施設については、緊急に調査、対策が必要だと思いがどうか</p>

			(3) 羽村市の施設のつり天井は「斜めの揺れ止め金具」などの補強はされているのか
4人目	13番	市川 英子 議員	<p>1 市内建設業者すべてが市の仕事を受けられるように制度の拡充を</p> <p>(1) 市が発注する公共施設などの工事や修繕で、小規模のものについて、既にある「電子申請登録制度」とは別に工事の受注を希望する業者の名前をあらかじめ登録しておく「小規模工事等契約希望者登録制度」の実現で、小規模建設事業者の受注機会の拡大を図って頂きたい</p> <p>(2) 以前実施していた「住宅リフォーム助成制度」の復活を</p> <p>2 多摩川散策路の水上公園駐車場から小作取水堰間にトイレと休憩所の設置を</p> <p>(1) 市民の散策の場となっているコースは色々あり親しまれているが、水上公園から小作取水堰間は公園もないためトイレ・休憩所が不足している。トイレと休憩所の設置を考えて頂きたい</p>
5人目	12番	菱田 ・樹 議員	<p>1 羽村市の障害者自立支援法（案）—現在廃案中—への対応について</p> <p>2 羽村市の国民保護計画について</p> <p>(1) 羽村市として、これらのことについての都からの情報入手の状況について</p>
6人目	4番	瀧島 愛夫 議員	<p>1 市立小中学校の校内駐車場の安全対策はいかがか</p>
7人目	6番	中根 康雄 議員	<p>1 高齢者を悪質リフォームから守る相談窓口の充実を求む</p> <p>(1) 市内で被害にあったとの報告はあるか</p> <p>(2) 現在、市における相談体制はどうなっているか</p> <p>(3) 事前の対応として、被害を未然に防ぐために、高齢者や家族に注意を喚起する広報活動を強化する考えはないか</p> <p>(4) 事後の対応として、被害者救済のために、弁護士、建築士、消費者センター等の連携で相談体制の強化を図る考えはないか</p> <p>(5) 「成年後見制度」や「地域福祉権利擁護事業」を積極的に活用する考えはないか</p> <p>(6) さりげなく、一人暮らしや高齢者夫婦を見守り、いざという時に支援できるネットワーク作りをしてみてもどうか</p>
8人目	9番	露木 諒一 議員	<p>1 武蔵野等地区市街化調整区域について</p> <p>(1) 地権者との話し合いについて</p> <p>(2) 東京都との市街化編入の協議について</p>

9 人目	17 番	川崎 明夫 議員	<p>(3) 基本計画策定の時期、また、市街化編入までの手続きについて</p> <p>(4) 土壌汚染対策について</p> <p>(5) 小規模敷地分譲ゾーンの対策について</p> <p>1 介護保険について</p> <p>(1) 「地域包括支援センター」の設置について</p> <p>(2) 当初の予想との違いとこれからの対応について</p> <p>(3) 低所得者対策について</p> <p>(4) 悪質リフォームに関する消費者トラブルの対応策等について（成年後見制度に結びつける仕組みの必要性について）</p> <p>2 セカンドスクールについて</p> <p>(1) 最近の子どもたちの絡む事件、事故について</p> <p>(2) セカンドスクールの検討はされたか</p> <p>(3) 学校教育として、長期宿泊体験事業（教室）の考えは</p>
10 人目	1 番	馳平 耕三 議員	<p>1 コミュニティバス「はむらん」の利用状況と効率性について問う</p> <p>(1) 「はむらん」のバス1台の平均利用者数は何人か</p> <p>(2) (1)の数は当初の予想や期待と比較して多いか少ないか</p> <p>(3) このペースで、1年（12カ月）の収益はどうか</p> <p>(4) 「はむらん」開通に向け、国土交通省と市は何度も折衝したとあるが、何度足を運び、どのような要望をしたか</p> <p>(5) 国などの補助金頼みの事業は見直すべきだと考えるが、市の考えは</p> <p>(6) 今後、利用率や採算性を高めるための市の工夫はあるか</p> <p>2 行政改革を実効性あるものにするため、あらゆる工夫を</p> <p>(1) 不要となった事務・事業・補助金の整理・廃止は不可欠だと考えるが、市はどのようなものを対象とし、それにより、どれくらいの効果があると試算しているか</p> <p>(2) 「サンセット方式」は、いくつくらいの事業に採用されているか</p> <p>(3) 予算を節約した部や課に、次年度分の予算を優先配分する制度を導入する考えはないか</p> <p>(4) 現在、市税を滞納している業者はどのくらいあるか。またその中で、市との取引や入札に参加している業者はあるか</p> <p>(5) 熊本市のように、全ての市税が完納されているかを調査し、滞納業者には登録を許可せず、入札に参加させないようにしている自治体があるが、市はそうした考えはないか</p> <p>(6) 「口利き禁止条例」を制定している自治体があるが、この条例に対する市の考えを問う</p> <p>3 「危機管理体制」の充実を</p> <p>(1) 市の震度計は、どこにいくつあり、きちんと作動して</p>

11 人目	11 番	門間 淑子 議員	<p>いるか</p> <p>(2) 災害発生直後の対応だけでなく、復旧までの対応を市はどうか検討しているか</p> <p>(3) 災害時の、衛星通信などを利用した連絡体制の充実を研究すべきではないか</p> <p>(4) 災害弱者の皆さま、聴覚障害者の皆さまへの連絡体制や、肢体不自由な皆さまの避難所までの移動について、具体的にどのような方法を考えているか</p> <p>1 指定管理者の指定は、公正・透明な選定方法で進めるべき</p> <p>(1) 羽村市情報公開条例を改正し、第 2 条に指定管理者を加えるべきではないか</p> <p>(2) 地方自治法に規定されている「議員の兼業禁止」「長の兼業禁止」条項は、指定管理者にも適用されるか</p> <p>(3) 指定管理者の欠格条項に、助役・収入役・教育委員会委員を適用できないか</p> <p>(4) 公募によらない指定管理者の指定はあり得るか（羽村市では）</p> <p>(5) 指定の議決に際して、選定経過、選定基準、評価結果の情報提出を求めるが、市長の見解を伺う</p> <p>2 住民基本台帳の大量閲覧制限条例の制定を急げ</p> <p>(1) 閲覧申請に際しては予約制を導入し、閲覧者、閲覧内容を審査すべきではないか</p> <p>(2) 委託を受けて閲覧するものに対しては、委託契約書のコピー提出を求めるべきではないか</p> <p>(3) 商業目的の閲覧は制限すべきではないか</p> <p>(4) 住民基本台帳の閲覧に関する条例の制定を再度提案するが、市長の見解を伺う</p> <p>3 児童・生徒の定期健康診断について</p> <p>(1) 定期健康診断疾病異常調査票は、各校の学校保健でどのように生かされてきたか</p> <p>(2) 社会環境の変化に伴い、乳幼児から高齢者までの健康課題も変化している。羽村市の児童・生徒の健康特性はどのようなものか</p> <p>(3) 小・中学校、校医の三者間連携は、どのように図られているか</p> <p>(4) これからの学校保健の重要課題はなにか</p>
12 人目	2 番	石居 尚郎 議員	<p>1 経済的負担の軽減で子育て支援を</p> <p>(1) 認可保育園の入園を希望しながらも、定員オーバーによりやむなく認可外保育施設、いわゆる認証保育所・保育室、家庭福祉員制度などを利用されている方が多いと聞く。その方々の多くは、認可保育園よりも高い保育料を払っている場合がある。そこで羽村市として、認可保育園の保育料と公平にするためにその差額を補助する考えはあるか</p> <p>(2) 羽村市は、幼稚園就園奨励費補助金、保護者負担軽減事業費補助金など、幼稚園に通わせている保護者への経済的負担軽減を図っている。羽村市私立幼稚園保護</p>

			<p>者連合会から、助成金の増額を望む声が毎年寄せられている。このことについて、羽村市は今後どのように考えていくのか</p> <p>2 防災・災害対策について</p> <p>(1) 一時集合場所、避難場所、避難所について</p> <p>①市は現在ある一時避難場所、避難場所について、その地域の世帯数や地域性どのように考慮して決めているか</p> <p>②今後必要に応じて地域住民と協議の上、一時避難場所、避難場所の拡大、見直しをしていく考えはあるか</p> <p>(2) 備蓄倉庫について</p> <p>①羽村市は現在3カ所に備蓄倉庫がある。道路の分断などにより、備蓄の輸送が困難になる場合が考えられる。避難場所、一時集合場所となっている公園や市立小中学校などに、分散して備蓄する必要があるのではないのか。市の考えを聞く</p> <p>(3) 防災・災害復興にも男女共同参画の視点を</p> <p>①国は現在、男女共同参画基本計画の改定作業を進めている。新たな取り組みを必要とする分野の一つに「防災・災害復興」（被災・復興における女性を巡る諸問題の解決のため、男女共同参画の視点を踏まえた防災体制を確立する）が盛り込まれている。盛り込まれている理由は、過去の震災時、被災者女性の数に比べて行政・ボランティアともに支援する側に女性の担当者が少なく、男女のニーズの違いを把握しない予防、応急、復旧・復興対策が行われたことなどの問題点があったと指摘されている。羽村市として、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制についてどのように取り組んでいるのか</p>
13 人目	8 番	船木 良教 議員	<p>1 公務員制度の展望と対応について</p> <p>(1) 公務員の能動的な発想・行動にマイナスである減点主義について</p> <p>(2) 生活給中心の年功主義賃金から、新しい能力主義賃金体制に変えるために「人事評価システム」の導入について</p> <p>(3) 公共ビジネスの考えが台頭してきた今、市場競争原理が働き、専門性が高く、質の高いサービスの提供ができるようにオープンキャリアシステムの必要性について</p> <p>(4) 人事院の給与に関する実態調査基準に該当する羽村市の企業・事業所数と、給与格差について</p> <p>(5) ラスパイレス指数に表れない手当てについての、羽村市の課題について</p> <p>(6) 「わたり」措置について、今後どのように評価し、淘汰していくか是正策について</p> <p>(7) 「分限・懲戒処分」実施について、羽村市の考えは</p>
14 人目	18 番	雨宮 良彦 議員	<p>1 今後の行財政改革について</p> <p>(1) 第四次行政改革について</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ①第三次行政改革の成果と残された課題は ②第四次行政改革大綱の進捗状況は ③作成に当たり市の基本的な考えは ④財政健全化に向けた数値目標は（経常収支比率、公債費比率等） <p>(2) 国の指針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国の指針等に対しての、背景・基本認識につき、市としての見解は ②財政運営上の課題を明確にするよう求められているが、当市の課題は ③財政比較分析表につき総務省の様式に従い、来年 3 月までに 16 年度分を公表するとなっているが、体制はとれているか ④市民への公表手段は <p>2 今後の広域行政について</p> <p>(1) 今後の広域行政の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①今後の広域行政について、市長の考え方は ②西多摩広域行政圏の活動状況と今後の方向性は ③一部事務組合の今後の方向性は ④横田基地周辺市町基地対策連絡会の今後の活動方針は <p>(2) 市町村合併について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①合併について、また今回の法律施行について市長の所見は ②合併について、庁舎内での研究の進捗状況は ③今回施行された法律に対する、東京都の動向は
15 人目	7 番	佐藤 征一 議員	<p>1 物を大切に作る心、環境にやさしい心「もったいない」を「市民の合言葉」とすることについて問う</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 今、世界の共通語になろうとしている「もったいない」を市民にPRすることについて (2) 市内の小・中学校で「もったいない」のこころ（精神）がはぐくまれる指導をさらに進めることについて <p>2 潜伏していた「死の病」アスベスト（石綿）について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 1988 年にアスベストの危険性が指摘されていることについて (2) アスベストを使用して現存する公共施設の名称と数について (3) 全施設の調査方法と結果について (4) 今後廃棄されるアスベストの処理方法について
16 人目	19 番	高橋 美枝子 議員	<p>1 健やかなくらしのために基本健康診査などの充実を</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 基本健康診査の意義を市民に周知するとともに、もっとたくさんの市民が受診できるよう実施期間を延長すべきではないか (2) 基本健康診査の対象は 35 歳以上にすべきではないか (3) 基本健康診査の結果の本人への通知とともに適切な指導を (4) 基本健康診査の項目にヘモグロビン A 1 c の検査の追加を

- (5) 基本健康診査の項目に胸部レントゲン検査の追加を
- (6) 女性の健康診査の導入を
- (7) たばこは健康に悪い。公園は禁煙地域にして良い環境に

2 介護保険が改悪されたのでサービスが低下しないよう市として特別の対策を

- (1) 10月から施設利用者の食費と「居住費」が介護保険からはずされることについて緊急に対策をとるべきではないか
- (2) 要介護度が悪化する原因は家事代行だといって家事援助を制限し、介護予防のための筋力トレーニングを導入することについて